

※ 途中の計算は必ずこの答案に残さない。

1年 () 組 () 番 名前 ()

【1】 次の () にあてはまるもっとも適当な語句を書きなさい。
ただし、漢字の部分は漢字で書くこと。

- 【知識理解】 (2点×8)
- (1) 1、2、3・・・のような正の整数を (①) と呼ぶ。
 (2) -5の-を (②) という。
 (3) 0と0より大きい数を表す数直線を左に延ばすと、負の数も数直線上に表すことができる。0に対する点Oを (③) といい、・・・。数直線上では、右にある数ほど (④) い。
 (4) ある数を表す点を数直線上にとったとき、(③) からその点までの距離を (⑤) という。
 (5) 記号>、<を (⑥) という。
 (6) $○+△=△+○$ のことを (⑦) 法則という。
 (7) $(+4)-(+6)+(-8)-(-3)$ を加法だけの式に直すと、 $(+4)+(-6)+(-8)+(+3)$ となる。このとき、+4、-6、-8、+3をこの式の (⑧) という。

①	自然数	②	負の符号
③	原点	④	大きい
⑤	絶対値	⑥	不等号
⑦	加法の交換法則	⑧	項

【2】 次の問いに答えなさい。 【知識理解】 (2点×14)

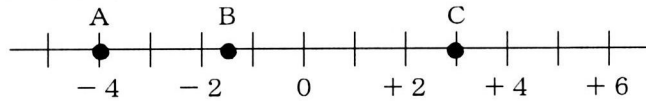
- (1) 次の数量を-を使わないで表しなさい。
 ① -4mの後退 ② -6点低い

4mの前進 6点高い

- (2) 次の数を、正の符号、負の符号を使って表しなさい。
 ① 0より2小さい数 ② 0より10大きい数

-2 +10

(3) 下の数直線上の点B、Cが表す数を答えなさい。



B -1.5 C +3

(4) 数直線上で-6と+2の中央にある数を求めなさい。



-2

(5) 次の絶対値を求めなさい。

- ① -5 ② +1.2
- 5 1.2

(6) 絶対値が5である数をすべて答えなさい。

+5, -5

(7) 次の組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

- ① +9 > -4 ② -1.5 < -1.2

(8) 次の式を加法だけの式になおし、正の項、負の項を答えなさい。

$(-4)+(-21)-(-18)-(+9)$

式 $(-4)+(-21)+(+18)+(-9)$

正の項 +18 負の項 -4, -21, -9

【3】 次の計算をしなさい。

【表現処理】 (2点×6)

- ① $(-5)+(-7)$ ② $(+6)+(-8)$

-12

-2

- ③ $(+6)+(-6)$

- ④ $(+9)+0$

0

+9

- ⑤ $(-1.6)+(+2)$

- ⑥ $(+\frac{1}{3})+(-\frac{2}{3})$

+0.4

$-\frac{1}{3}$

【4】 次の減法を加法に直して計算しなさい。

【表現処理】 (2点×2: 完答)

- ① $(+3)-(-5)$

- ② $(-6)-(+6)$

= $(+3)+(+5)$

= $(-6)+(-6)$

= +8

= -12

【5】 次の減法を加法に直して計算しなさい。

【表現処理】 (2点×4)

- ① $(-6)-(+7)$

- ② $0-(-15)$

= $(-6)+(-7)$
= -13

= $0+(+15)$
= +15

-13

+15

- ③ $(-3.5)-(+5)$

- ④ $(+2)-(-\frac{2}{5})$

= $(-3.5)+(-5)$
= -8.5

= $(+2)+(+\frac{2}{5})$
= $(+\frac{10}{5})+(+\frac{2}{5})$
= $+\frac{12}{5}$

-8.5

+2.4 $+\frac{12}{5}$

【6】 次の式を①加法だけの式になおし、さらに②加法の記号と () を省いた式 (代数和) に表して③計算をしなさい。

【表現処理】 (2点×3)

$(+20)-(+7)+(-13)-(-5)$

① = $(+20)+(-7)+(-13)+(+5)$

② = 20 -7 -13 +5

③ = 20 +5 -7 -13
= 25 -20
= 5

＝だけは、代数和の指定があるので、
先頭の「+」は省くと、おと×

【7】 次の計算をしなさい。

【表現処理】 (2点×5)

① $-4 + 5$

1

② $-7 + 5 - 3 - 5$
 $= -7 - 3 - 5 + 5$
 $= -10$

-10

③ $26 - (-2) - 16 + 38$
 $= 26 + (+2) - 16 + 38$
 $= 26 + 2 - 16 + 38$
 $= 26 - 16 + 2 + 38$
 $= 10 + 40$
 $= 50$

50

④ $1.5 - (+3.2) + (-5.3) - (+2.7)$
 $= 1.5 + (-3.2) + (-5.3) + (-2.7)$
 $= 1.5 - 3.2 - 5.3 - 2.7$
 $= 1.5 - 11.2$
 $= -9.7$

-9.7

⑤ $-\frac{5}{12} + \frac{1}{4} - (-\frac{2}{3}) - (+\frac{5}{6})$
 $= -\frac{5}{12} + \frac{1}{4} + (+\frac{2}{3}) + (-\frac{5}{6})$
 $= -\frac{5}{12} + \frac{1}{4} + \frac{2}{3} - \frac{5}{6}$
 $= \frac{1}{4} + \frac{2}{3} - \frac{5}{12} - \frac{5}{6}$
 $= \frac{3}{12} + \frac{8}{12} - \frac{5}{12} - \frac{10}{12}$
 $= \frac{11}{12} - \frac{15}{12} = -\frac{4}{12} = -\frac{1}{3}$

$-\frac{1}{3}$

【8】 次の表は、A、B、C、D、Eの5人の数学のテストの点数を、Cの点数を基準にして、Cより点数が高いときは正の数、低いときは負の数で表したものである。これについて、次の問に答えなさい。 【数学的な考え方】 (2点×3)

人	A	B	C	D	E
Cとの差(点)	-7	+12	0	-9	+14

① 点数のもっとも高い人はだれですか。アルファベットで答えなさい。

E

② 点数のもっとも高い人ともっとも低い人の差は何点ですか。

$+14$ -9
 $(+14) - (-9) \leftarrow$
 $= (+14) + (+9) = +23$

23 点

③ Aの得点が73点のとき、Bの得点は何点ですか。

$+12$ ↑ B: 92点
 $+80$ ↑ C: 80点
 -7 ↑ A: 73点
 $+19 \dots (+12) - (-7)$
 $73 + 19 = 92$

92 点

【9】 次の数を、小さい方から順に並びかえなさい。

【数学的な考え方】 (2点)

$+5, -3, 0, +2.6, -1\frac{1}{2}$
正 負 正 負

$-3, -1\frac{1}{2}, 0, +2.6, +5$

【10】 次の式を2通りの方法で計算しなさい。なお、数の順序を適当に変えて計算すること、数の順序をそう変えたわけをそれぞれ書きなさい。 【数学的な考え方】 (2点×2×2)

順序が変えていいよ
 同じ考え方のときは、しだけ○

<1通り目>

$(+3) + (-5) + (+6) + (-9)$
 $= (+3) + (+6) + (-5) + (-9) \leftarrow$ 数の順序を変えた式があるよ
 $= (+9) + (-14)$
 $= -5$

わけ 正の数と負の数に分けて
 計算した方が簡単だから。

<2通り目>

$(+3) + (-5) + (+6) + (-9)$
 $= (+3) + (+6) + (-9) + (-5) \leftarrow$ 数の順序を変えた式があるよ
 $= (+9) + (-9) + (-5)$
 $= 0 + (-5)$
 $= -5$

わけ 先に、正の数の和(+9)と負の数(-9)をたすと0になり
 計算が簡単になるから

他の方法もある。

1年()組()番 名前()

	知識・理解	表現・処理	数学的な考え方	計
正負の数	【1】 ~【2】 /44	【3】 ~【7】 /40	【8】 ~【10】 /16	/100
評価	A 36~ B 22~ C ~21	A 32~ B 20~ C ~19	A 13~ B 8~ C ~7	